

# 第15回 塔の島地区景観構造検討会



平成30年10月12日

淀川河川事務所

# 説明事項

## <塔の島地区の河川改修計画>

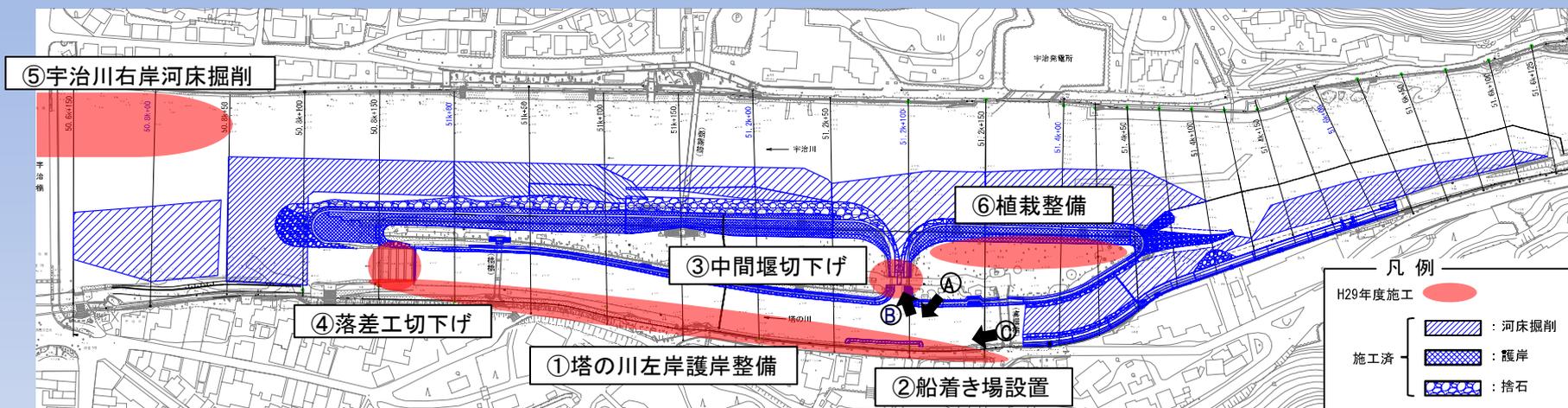
1. 工事の進捗状況について
2. 護岸構造について
3. 導流堤構造について
4. 橋梁景観について

## <宇治公園の上面整備計画>

1. 平成30年度工事について
2. サインについて
3. 安全柵について
4. 橋島トイレについて

# 1.1.平成29年度工事内容

平成29年度は①塔の川左岸護岸整備、②船着場設置、③中間堰切下げ、④落差工切下げ、⑤宇治川右岸河床掘削、⑥植栽整備を行いました。



(H30.4 撮影)



(H30.5 撮影)



(H30.7 撮影)

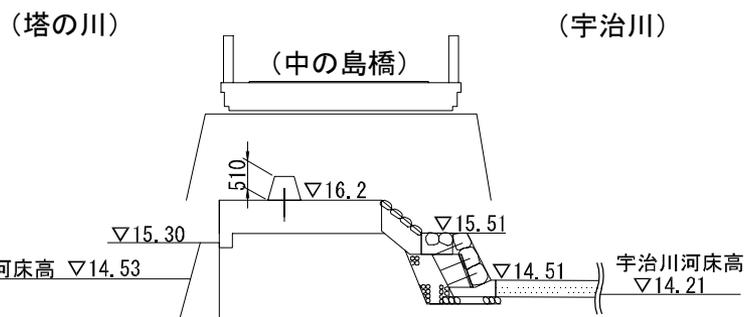
# 1.2. 景観に配慮した中間堰の構造

前のご指摘事項：中間堰構造について石張りでは人工的な景観となるため、導流堤同様の石積み構造としたほうが良い。

中間堰の構造は、導流堤と同様の石積み構造とし、護岸と同様の自然な景観を確保した。

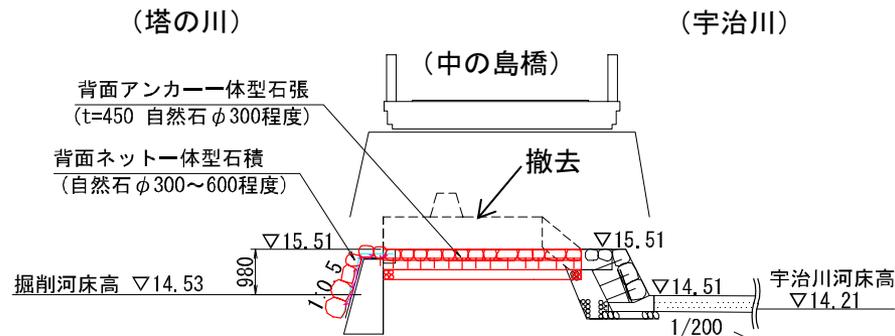
現況中間堰構造図

(整備前)



中間堰改良構造図(石積)

(整備後)



(全体景観)



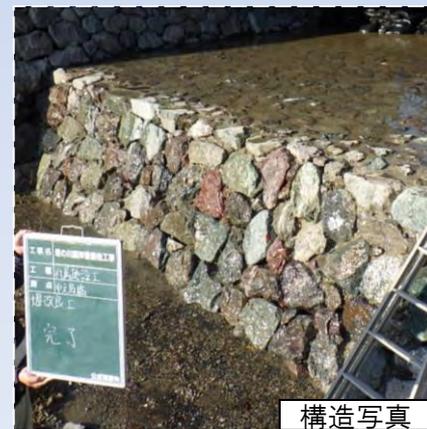
整備前

(H29.9 撮影)



整備後

(H30.4 撮影)

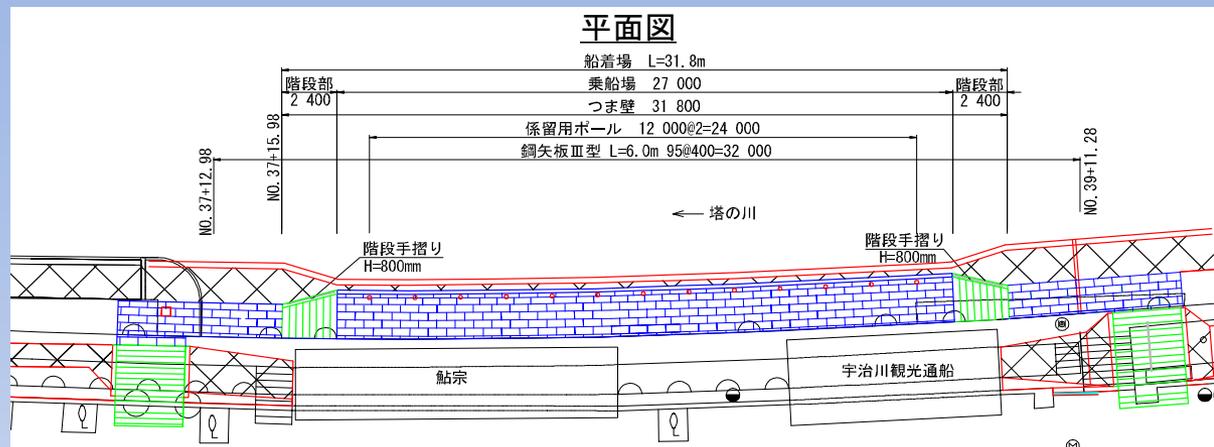


構造写真

(H30.4 撮影)

# 1.3.喜撰橋下流船着場

喜撰橋下流側の宇治川観光通船および鮎宗前に延長27mの船着場を設置した。



(H30.5 撮影)

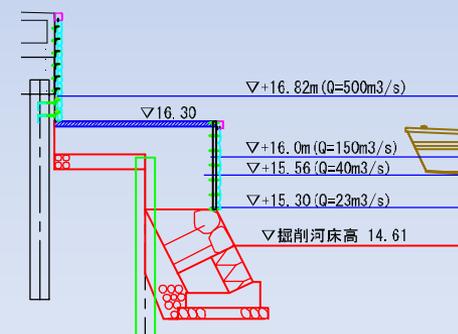


(H29.6 撮影)



(H30.7 撮影)

## 断面図



天ヶ瀬ダム放流量

Q=23m<sup>3</sup>/s: 低水流量

Q=40m<sup>3</sup>/s: 平水流量

Q=150m<sup>3</sup>/s: 豊水流量

Q=500m<sup>3</sup>/s: 島内立入規制流量  
 (宇治橋地点)

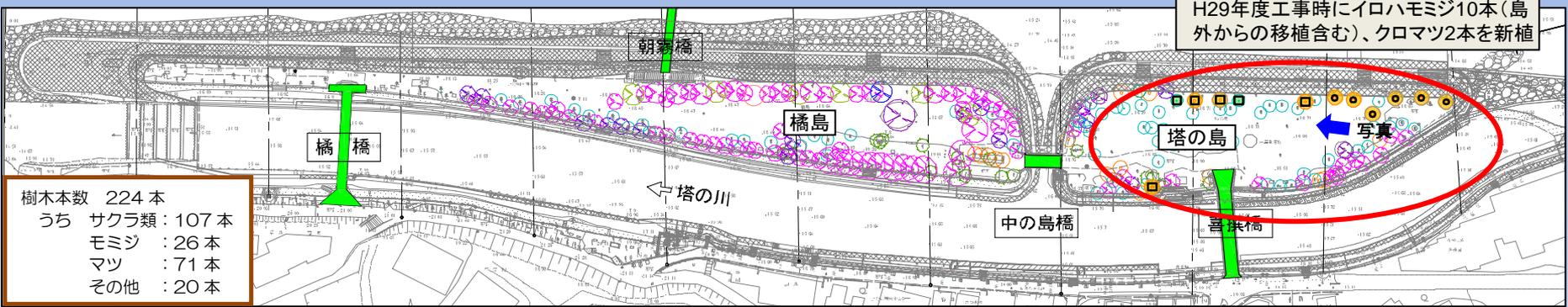
# 1.4.植栽整備工事について

平成29年度工事ではイロハモミジ10本、クロマツ2本を塔の島内に植樹した。

平成30年4月時点

凡例

⊗: ソメイヨシノ	⊗: シダレザクラ
⊗: サトザクラ	○: ヤマザクラ
⊗: オオシマザクラ	○: クロマツ
⊗: エドヒガン	○: イロハモミジ
○: その他	
⊙: 移植木	⊚: 新植木



樹木本数 224 本

うち サクラ類: 107 本

      モミジ : 26 本

      マツ : 71 本

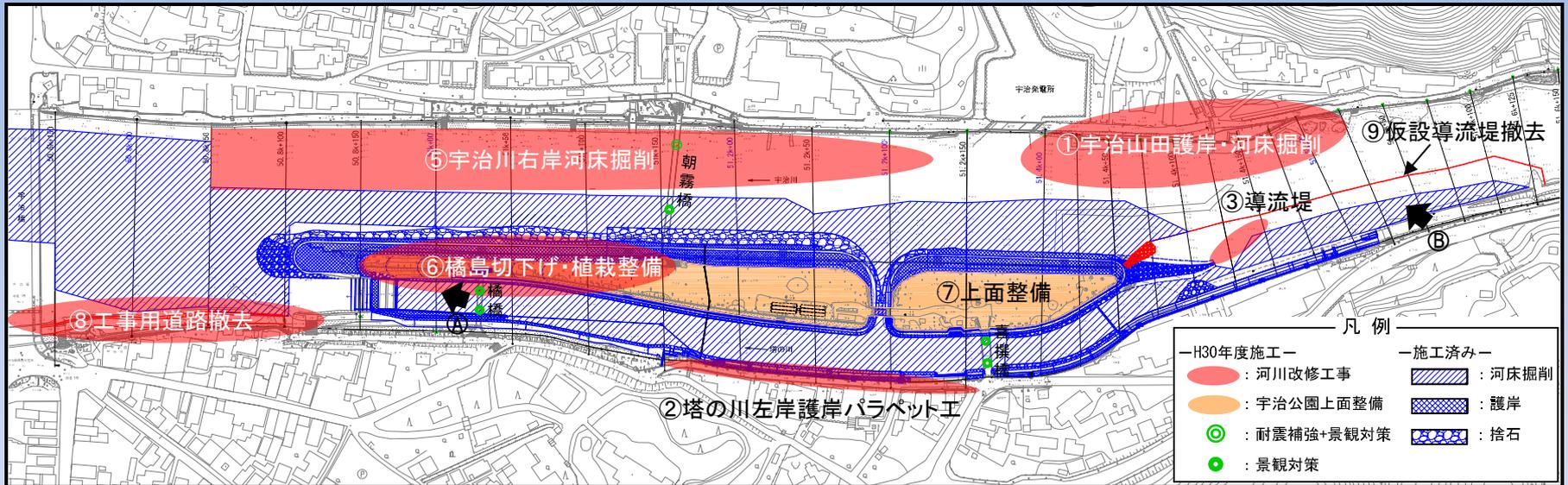
      その他 : 20 本



※週1回灌水を行っています。

# 1.5.平成30年度工事内容

平成30年度工事は「①宇治山田護岸・河床掘削」、「②塔の川左岸パラペット工」、「③導流堤」、「④橋梁景観工」、「⑤宇治川右岸河床掘削」、「⑥橋島切下げ・植栽整備」、「⑦上面整備」、「⑧工事用道路撤去」、「⑨仮設導流堤撤去」を行う。



④ 橋島下流端  
(H29.6 撮影)



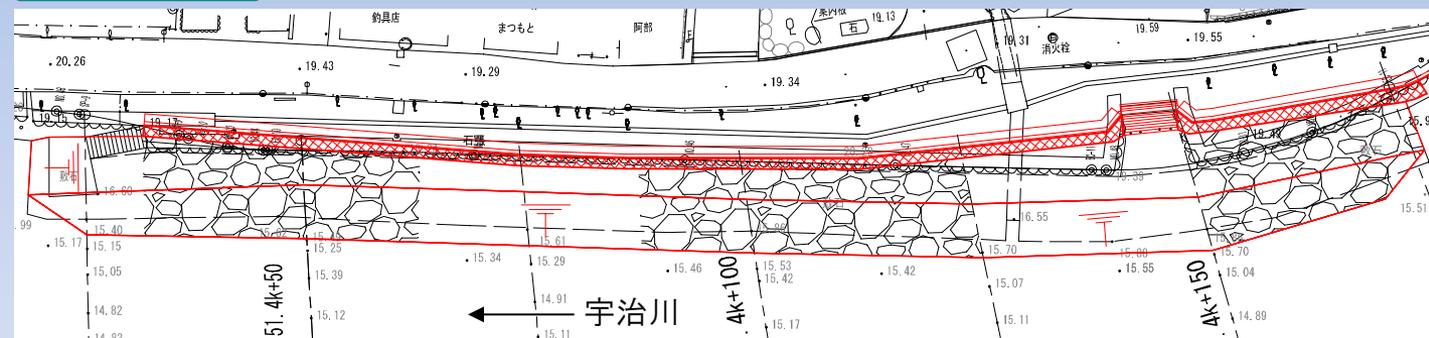
⑨ 宇治山田護岸・仮設導流堤  
(H29.6 撮影)

# 2.1. 宇治山田護岸の整備について

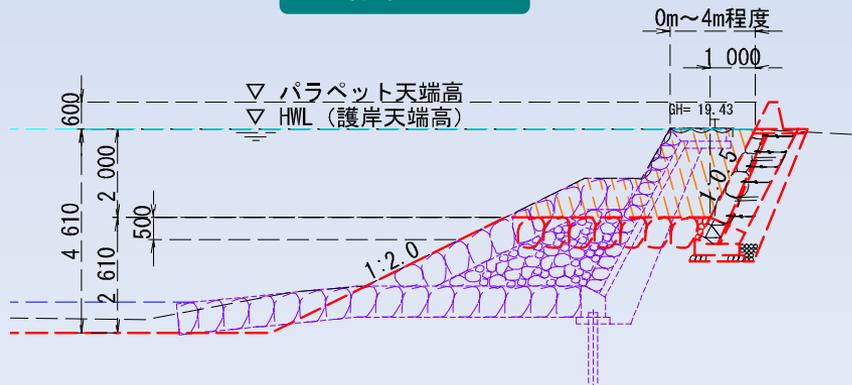
宇治山田護岸は「①護岸法線」、「②護岸構造」、「③パラペット構造」について検討し、内容は以下のとおりとする。(検討順序は検討フロー参照)

- ①護岸法線は現況樹木の保全に配慮し、約1.5m~2.0m程度の離隔を確保する。(☞護岸法線の設定 P7)
- ②護岸構造は計画流量1500m<sup>3</sup>/sを流下させるために既設護岸をHWL-2.0mの範囲まで撤去し、石積護岸を設置する。(☞護岸構造 P9)
- ③パラペット構造は計画流量流下時の余裕高を確保するために、高さ60cmの石積を設置する。(☞パラペット構造 P9)

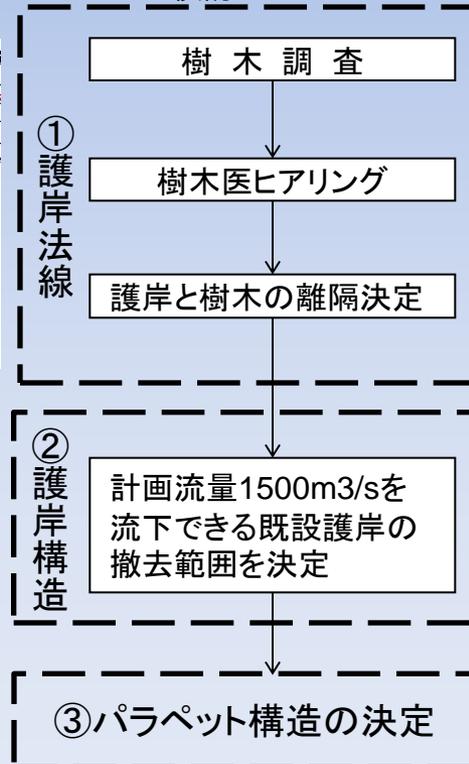
護岸法線



標準断面

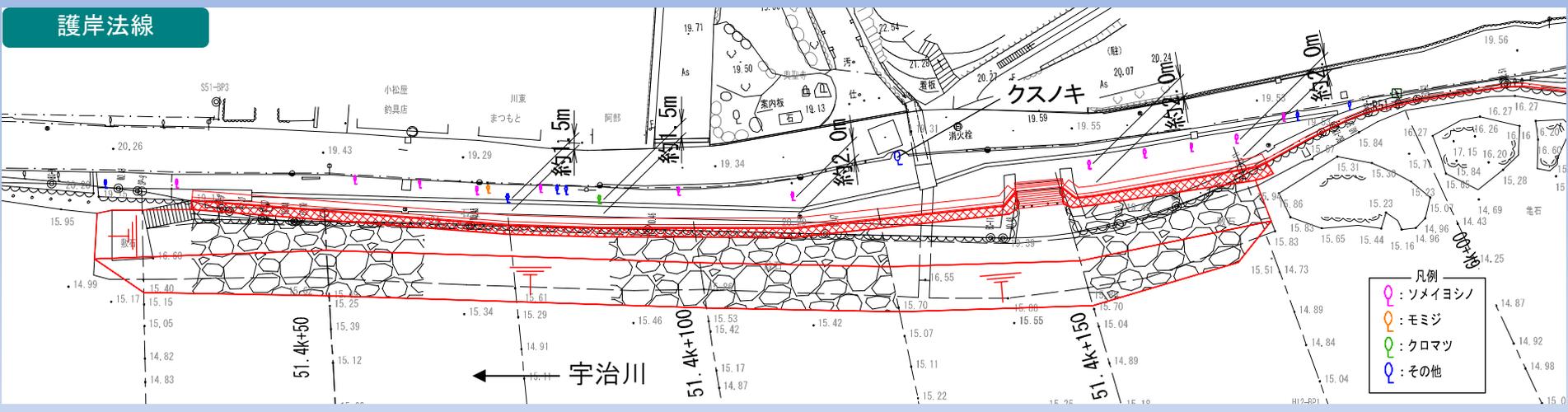


◀検討フロー▶



# ①護岸法線の設定(施工時の樹木配慮)

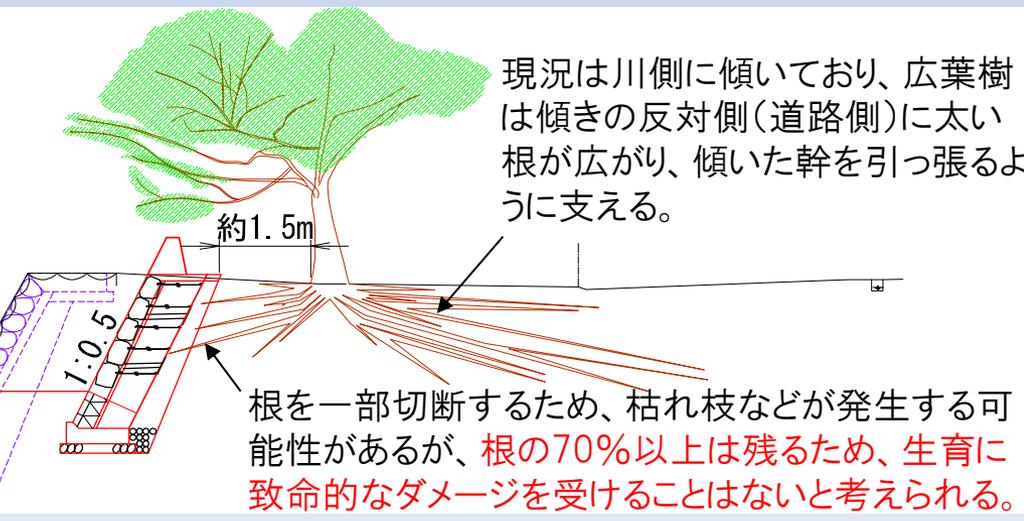
現況の樹木(広葉樹)は川側に傾いており、広葉樹の根は傾きの反対側に根が広がる。  
 そのため、樹木との離隔を約1.5m~2.0m程度確保することで、根の一部切断は必要となるが、根の70%以上は残るため、現況樹木を存置させた施工が可能であると考えられる。(樹木医へのヒアリングより)



※興聖寺前のクスノキについて  
 樹齢100年以上と推定される興聖寺前のクスノキは離隔を5m程度以上確保できるため、施工時に影響は無い計画としている。



護岸との離隔が小さい樹木



# (a) 施工時の留意点

## ～～施工時の留意点～～

### ● 掘削・根の切断時

- ① 根の切断を重機等で行った場合、残された根から腐朽が侵入する要因となり、新しい根の発根もしづらくなるため、原則的に**根はノコギリ、剪定バサミによって平滑に切断。**
- ② 残された根の切断口に、**殺菌癒合促進材を塗布**し、腐朽を防止。
- ③ 埋め戻しまでの期間が長い場合には、**シート掛けなどにより乾燥を防止。**

### ● 埋戻し時

- ① 透水性・保水性・通気性確保のため、**表層50cmの土壤改良**を行う。
- ② **埋め戻し後は灌水を実施**し、土と根を馴染ませ、大きな隙間をなくす。

### ● その他

- ① 残される植樹帯の上に、**工事中に重機・車両・重量資材が乗らないよう配慮**する。
- ② 整備後の一年、特に乾燥する時期には灌水を実施。

# ②、③護岸及びパラペット構造について

護岸及びパラペット構造は景観に配慮して以下のとおりとする。

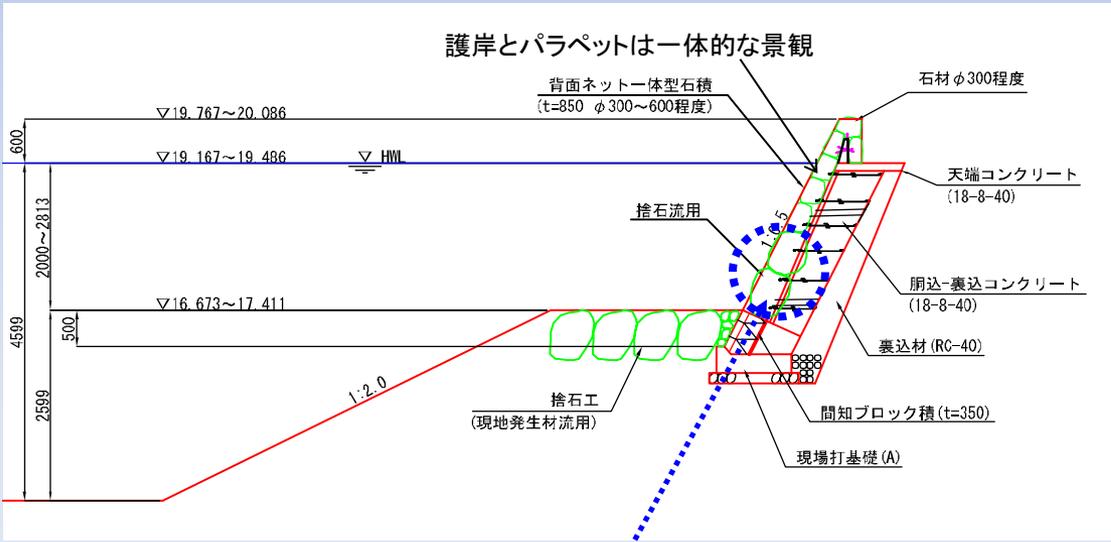
②川表側は、護岸とパラペットが一体的な景観となるように石材を配置する。

→護岸基部は撤去した前面の捨石を再利用する。

→第14回にてパラペットは無垢の自然石としたが、護岸とパラペットが一体的な景観となるよう護岸と同じ大きさの石材で設置する。（無垢の自然石の場合、構造の分かれ目にラインが入り人工的な景観となる。）

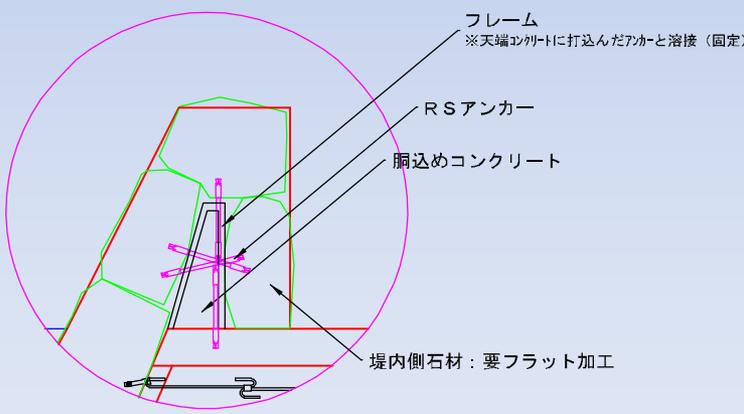
③川裏側は、パラペットが直線的な景観のため、異なる大きさの石材を適度に配置する。

宇治山田護岸標準断面図



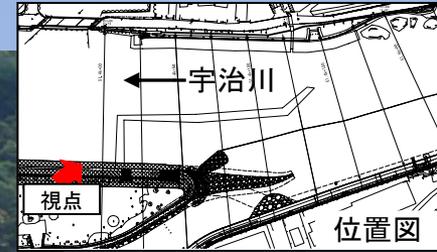
撤去した前面の捨石を利用する

パラペット詳細図



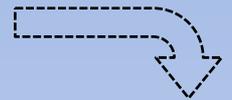
# (a) パラペット設置イメージ(対岸(塔の島)より)

整備前

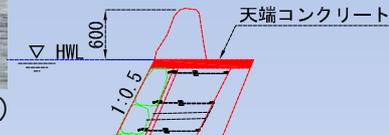


(H29.5 撮影)

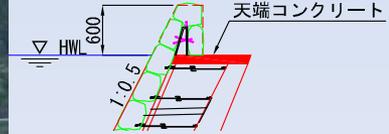
整備イメージ



パラペットが無垢の自然石の場合、外観にラインが入り、人工的な景観となる。

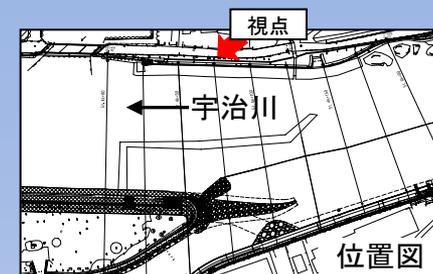


護岸とパラペットを一体とし、自然な景観とする。



# (b) パラペット設置イメージ(堤内地側より)

整備前



(H29.1 撮影)

整備イメージ

石の大きさを揃えないようにする

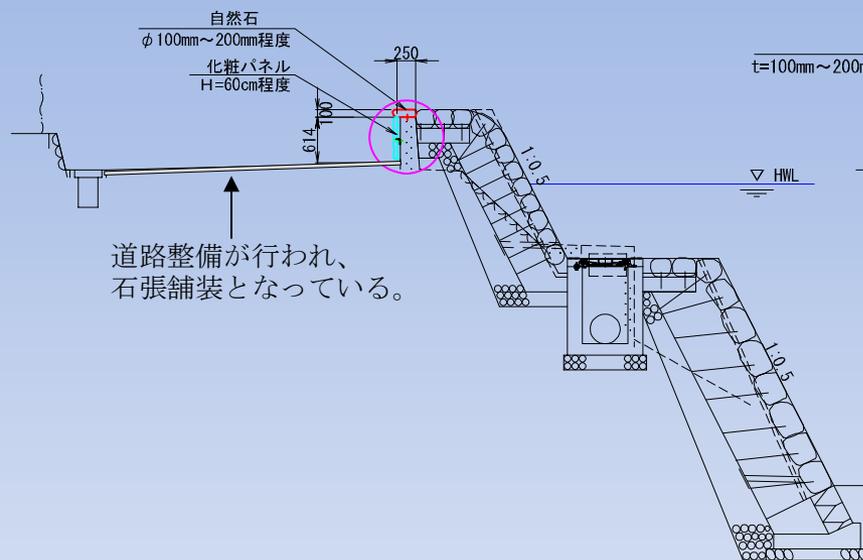


コンクリート表面が出ないように覆土する

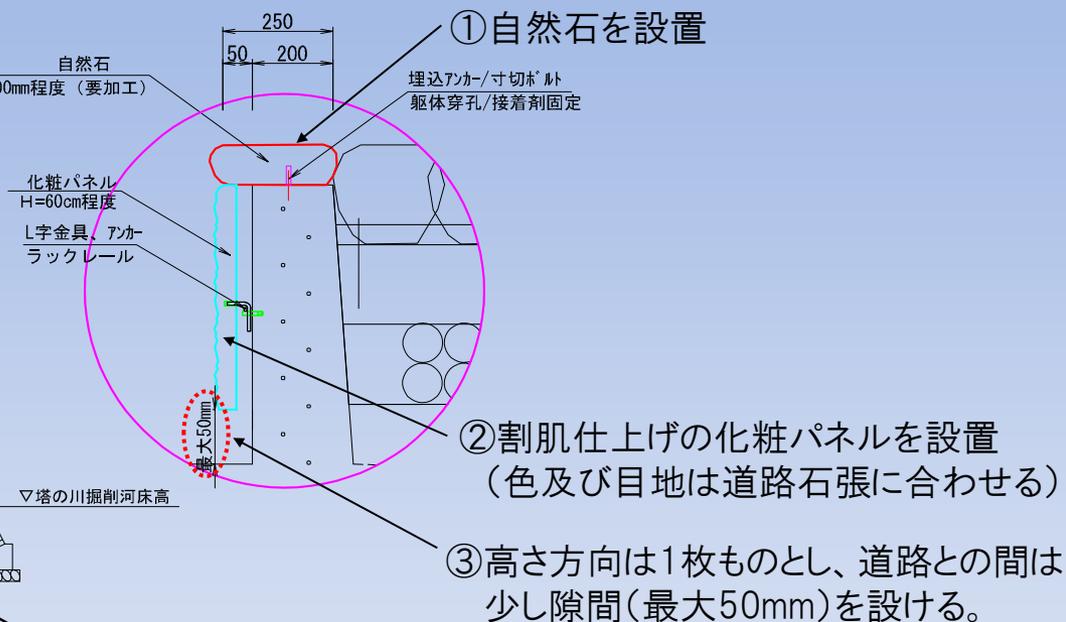
## 2.2. 塔の川左岸護岸パラペットについて

塔の川左岸の市道舗装との景観に合わせ、既設パラペット天端に**自然石**、側面に**化粧パネル**を設置し、全体景観の調和を図るものとする。

塔の川左岸護岸標準断面図



詳細図



<塔の川左岸市道改修前後(喜撰橋下流側)>



現況

(H30.7 撮影)



整備イメージ

# 3.1. 導流堤形状(塔の島との摺付け)

前回ご指摘事項: 導流堤は景観に配慮し、塔の島から自然に摺付けるような構造が良い。

導流堤は景観に配慮し、①「塔の島との縦断的にスムーズな摺付け」、②「石材のバランス」、③「なめらかな平面形状」となるように施工する。

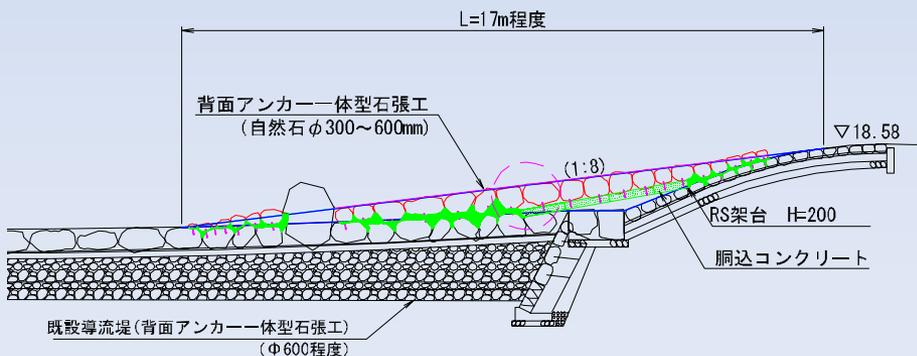
(視点A)



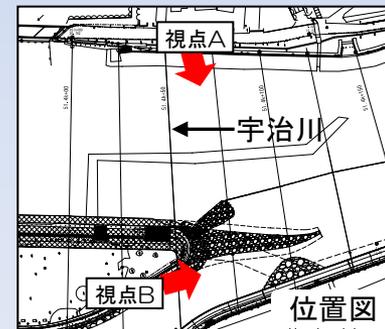
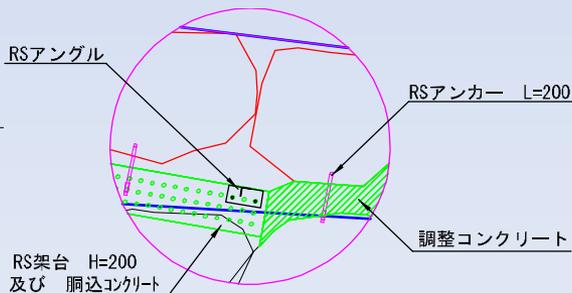
(視点B)



塔の島への摺付け断面図



詳細図



# 4.1. 橘橋・喜撰橋

前回ご指摘事項：橋脚の耐震対策箇所のみが大きく景観上の課題がある。また、橋脚の色は補強部同様の膨張色（白色）ではなく、収縮色（濃い色）がよい。

補強箇所が目立たないようにFRPカバーを設置し、色は**収縮色（無彩色）**の艶消しとする。

橘橋



現況橋梁  
(H30.7 撮影)

【整備案】



収縮色補強(無彩色)

喜撰橋



現況橋梁  
(H30.7 撮影)

【整備案】

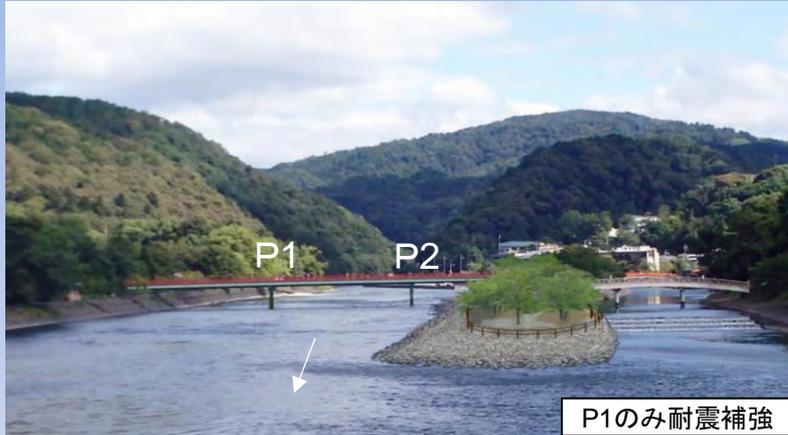


収縮色化粧(無彩色)

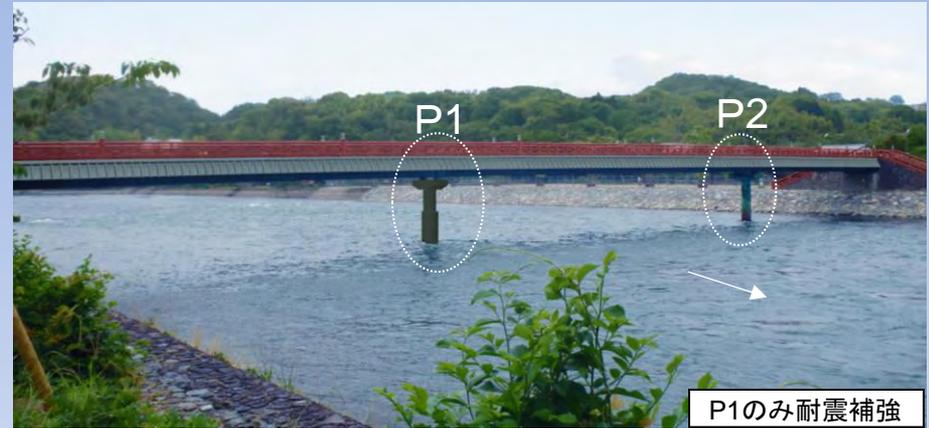
## 4.2.朝霧橋

朝霧橋はP1橋脚の耐震補強に合わせ、橋脚全体の景観を考えてP1、P2橋脚にFRPカバーを設置する。また、色は**現況の橋脚と同系色で彩度を下げた色**とする。

【宇治橋からの景観】



【宇治川右岸下流側からの景観】



# 1.1. 宇治公園再生計画について

## 宇治公園再生計画

宇治川の改修に伴う宇治公園の再生計画について、市民のみならず市民へのアンケート、塔の島地区景観構造検討会、宇治川サクラプロジェクト市民ワークショップなどのご意見を踏まえて検討して参りましたが、このたび『現況の樹木を極力保全すること』を基本として、『宇治公園再生計画』を取りまとめたので、お知らせいたします。なお、植樹間隔等については、今後も継続して検討して参ります。

### 宇治公園再生計画の方針

- ◆ 宇治川と周辺の景観や自然環境を現代に活かし、古来より  
⇒ **宇治川の風景を体感する場を磨く**
- ◆ 世界遺産をつなぐ回廊の途上において宇治川とその景観  
⇒ **宇治川を背景とした憩いと集いの場をしつらえる**

宇治川の風景を体感する場を磨く

宇治川を背景とした憩いと集いの場をしつらえる

### アンケート調査結果に基づく再生計画

- 平等院と宇治上神社を結ぶ歩きやすい石敷舗装の散策路を整備します。
- 景観を満喫できる石敷舗装の視点場を整備します。
- 植栽に当たっては、島内から水面への見通しを良くします。
- 水面への見通しや景観に配慮した安全柵を設置します。
- 護岸形状を見直し、塔の川沿いのサクラや中の島橋付近の樹木を極力保全します。
- 現位置で保全できない樹木は極力移植しますが、枯死木・病木など移植しても生育が見込めないと樹木医が判断したものは、やむを得ず伐採します。
- 橋島の植栽は、保全するソメイヨシノの他、ヤマザクラ、エドヒガン、オオシマザクラを加え、多彩な花色で開花期間を長くします。
- 塔の島は、季節を感じられる樹木を揃えることとし、クロマツに加え、モミジを配置し秋のイメージを印象づけます。
- サクラの広場ゾーンは、トイレをリニューアルするとともに、現在の浄化槽用地（約700㎡）を活用し、現在の広場面積を概ね確保します。

○はH25年3月、●はH25年9月のアンケート結果に基づくもの

### サクラの堤ゾーン

宇治橋からの景観に配慮し、下流側にソメイヨシノを多く配植するとともに、ヤマザクラ、エドヒガン、オオシマザクラを加え、多彩な花色で開花期間を長くします。



将来イメージ図

### サクラの広場ゾーン

保全するソメイヨシノとのバランスを考慮しつつ、ヤマザクラ、エドヒガン、オオシマザクラを加え、多彩な花色で開花期間を長くします。



### 松陰の広場ゾーン

季節を感じられるように、クロマツに加え、モミジを配置し秋のイメージを印象づけます。



※整備イメージスケッチは、植栽後、樹木が成木となった時点をご想定して作成しています。



# 1.2. 平成30年度工事内容について

宇治公園 計画平面図

平成30年度施工箇所

(橘橋)高欄・塗装・橋面舗装補修

安全柵設置

橘島

石敷舗装

宇治川

(朝霧橋)

石敷舗装イメージ



ベンチイメージ



照明灯イメージ



塔の川  
土固化舗装

橘島トイレ改修

(中の島橋)高欄・塗装補修

塔の島

安全柵設置

(喜撰橋)高欄・塗装補修



(中の島橋)

石敷舗装

■凡例

記号	名称
	石敷舗装
	砂利敷舗装
	土固化舗装
	新設照明柱(橘島:5基、塔の島:3基/計8基)
	足元灯(橘島:5基、塔の島:5基/計10基)
	ベンチ(橘島:15基、塔の島:9基/計24基)
	サイン移設・設置
	植栽(新植栽)
	植栽(移植植栽)
	植栽(存置植栽)

- 開口部門扉設置
- ゴミ箱 (5基) (撤去)
- 水飲み (2基)
- 欄H-825 (鍛鉄製)

## 2.1. サインについて

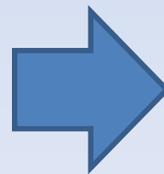
前のご指摘事項: サインについては宇治市の観光施策と一体で計画する方が良い。

### ○サインの整備方針

＜宇治市観光案内サイン整備ガイドライン(平成28年4月)と整合＞

- ・既存サインを整理、統合し、最小限必要なサイン配置とする。
- ・まちなみや自然、歴史的景観を阻害する配置としない。
- ・誰にでもわかりやすく、見やすい配置とする。
- ・ピクトグラム等の図や記号を活用する。
- ・5カ国表記とする。(日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語(ハングル))

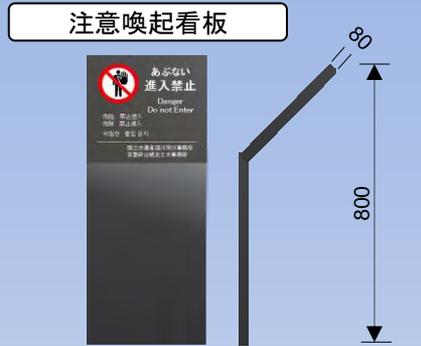
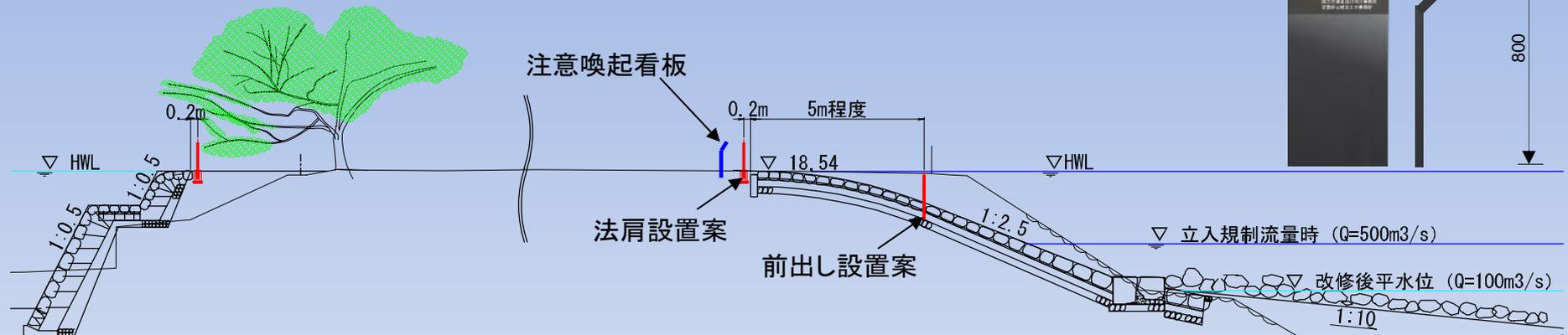
### ○サインの更新(案)



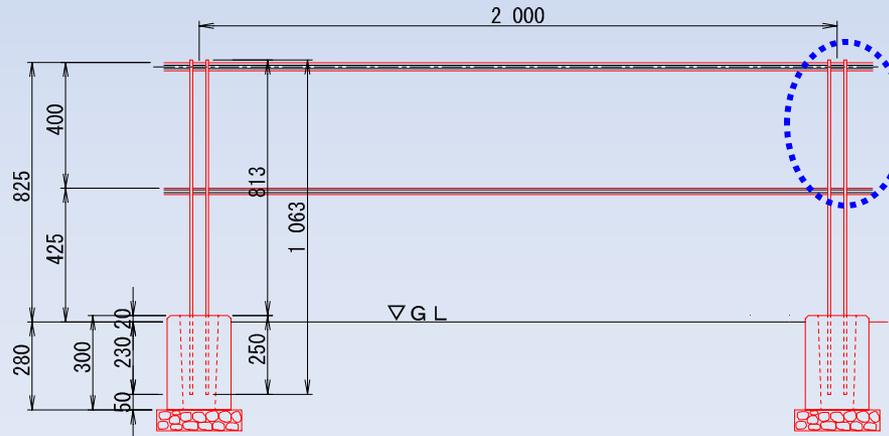
# 3.1. 安全柵の設置位置

前回ご指摘事項: 宇治川側の柵は公園の上面面積の確保と景観性を考慮して、護岸側(ラウンド部の勾配が緩い位置)に配置した方が良い。

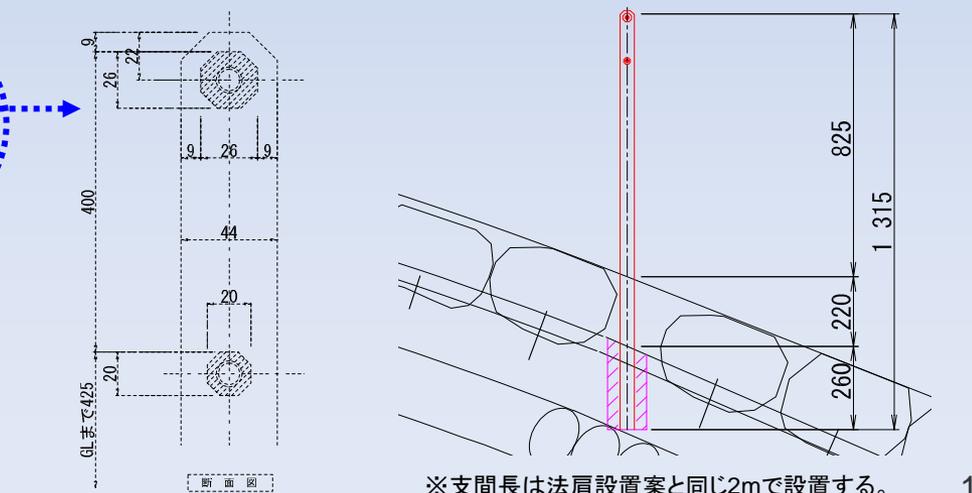
宇治川側の安全柵は、公園内と対岸からの眺望における景観性を考慮し、柵は法肩より前出しし、護岸部に設置する。



法肩設置案標準構造

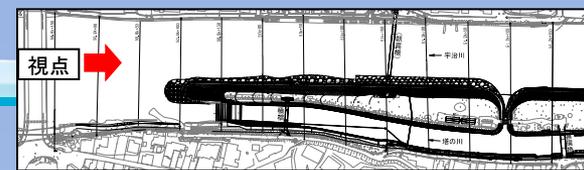


前出し設置案標準構造



※支間長は法肩設置案と同じ2mで設置する。

# (a) 宇治橋からの景観



## 【法肩設置案】



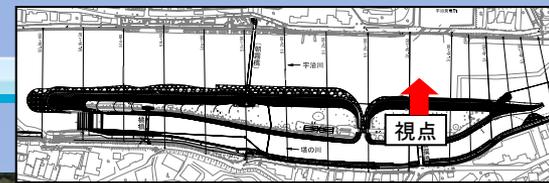
(イメージ)

## 【前出し設置案】



(イメージ)

# (b) 島内からの景観



## 【法肩設置案】



(イメージ)

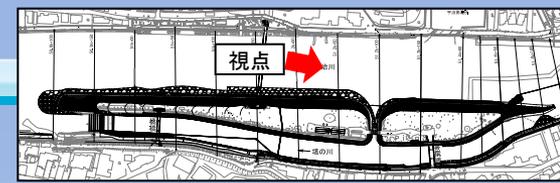
## 【前出し設置案】

※柵の詳細配置は検討中



(イメージ)

# (c) 朝霧橋からの景観



【法肩設置案】



【前出し設置案】

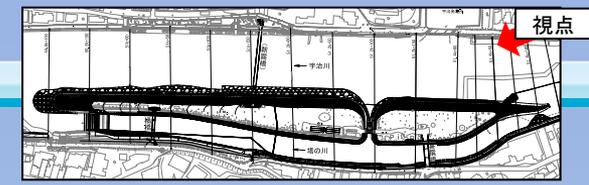
(イメージ)

※柵の詳細配置は検討中



(イメージ)

# (d) 対岸(宇治山田)からの景観



【法肩設置案】



【前出し設置案】

※柵の詳細配置は検討中



# 4.1.トイレリニューアルについて(外観)

橋島公衆トイレは、多くの方が快適に使いやすいトイレとなるように設備改修と周辺景観に配慮した外観リニューアルを行います。(既存構造躯体はそのまま利用します)

## <外観について>

### (改修方針)

- ①公園から内部が直接見えないよう目隠し塀の設置
- ②京都府福祉のまちづくり条例に基づき手すりの設置
- ③周辺景観に配慮して外壁全周に杉板の設置

杉板(木材保護塗料仕上げ)の素材・色彩

使用箇所:板張り壁、目隠し塀、目隠し板

※木材保護塗料の参考マンセル値:色相 明度/彩度 7.0YR 2.8/0.8

### (現況写真)

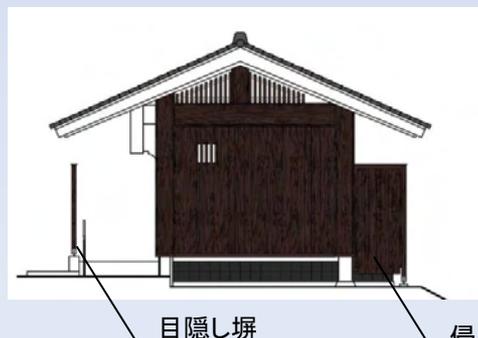
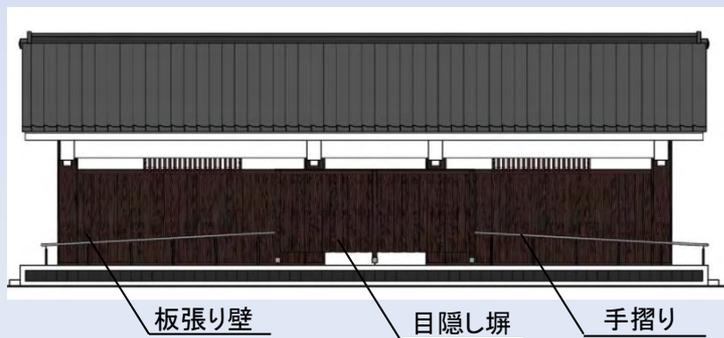


### (改修イメージ図)

表側

側面

裏側



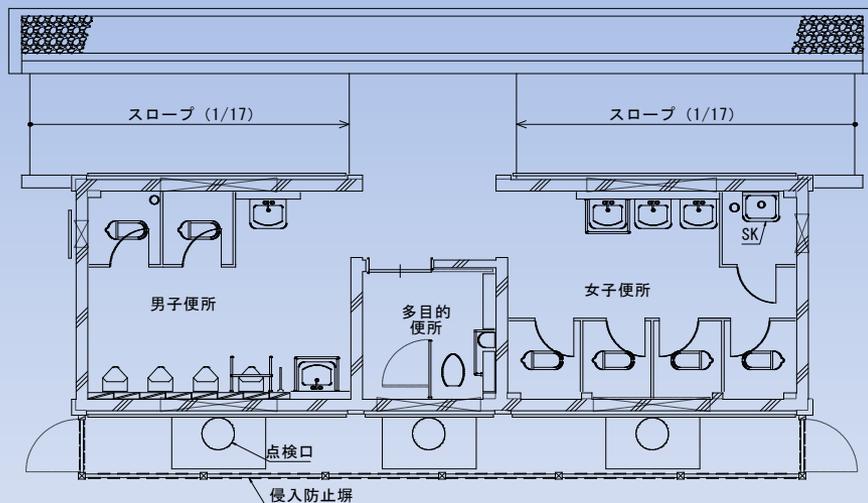
# 4.2.トイレリニューアルについて(設備)

## <設備について>

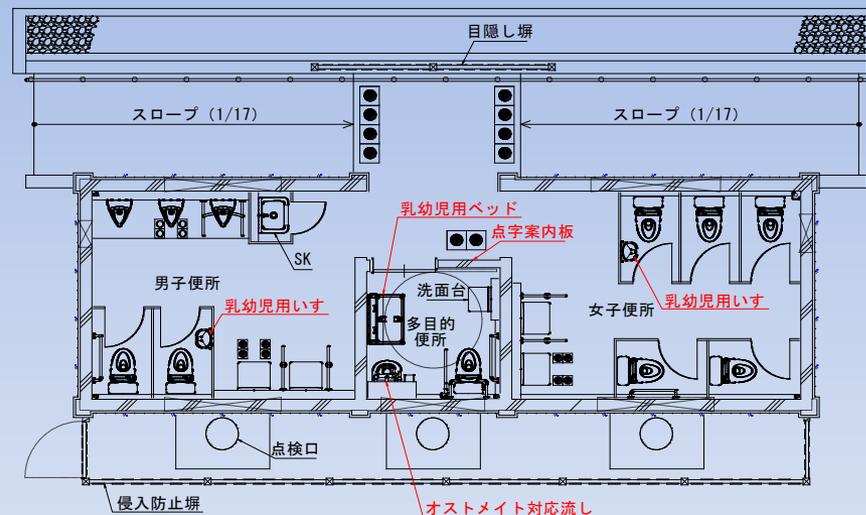
### (改修方針)

- ①多くの人が快適に使いやすいトイレとなるよう**内部レイアウトの変更**と劣化した便器等の**衛生器具の更新**
- ②京都府福祉のまちづくり条例に基づき、多目的便所に**オストメイト対応流し**、**乳幼児用ベッド**を追加
- ③男子、女子便所内に**乳幼児用いす**の設置
- ④**点字案内板**や**点状ブロック**等を設置

(現況)



(改修後)



(衛生器具数)

	現況	改修後
多目的便所	大便器1 手洗い1	大便器1 手洗い1 オストメイト対応流し1 乳幼児用ベッド1
男子便所	大便器2 小便器4 手洗い2	大便器2 小便器3 SK1 手洗い2
女子便所	大便器4 SK1 手洗い3	大便器5 手洗い2

- ※凡例 (点状ブロック等)
- 点状シート (150×150) を示す
  - 点状タイル (150×150) を示す
  - 点状タイル (300×300) を示す

※ 女性トイレが混み合うことがあるため、既存施設にあるSKを男子トイレへ移設し女性トイレの便器数を増やすこととしています。

※ 大便器は全て洋式とします。

用語説明  
SK(スロップシンク): 掃除用流し